



あけましておめでとうございます。今年が皆さまにとってよい年になりますように。
今年は巳年（へび年）です。蛇は脱皮を繰り返しながら成長していくように、新しい始まりや変容の象徴だそうです。今年も新しいことに挑戦しつつ成長していけたらいいですね。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「子どもといっしょに成長しよう」

浅田 和伸/著

（ジアース教育新社 2021 年発行）

サブタイトルが『3日で気が楽になる「親」の本』。子育てに悩んだり、自分を追い詰めていたりしている保護者に向けて、だいじょうぶ、子どもと一緒に「親」として成長していきましょと、勇気づけてくれる本です。また、保護者だけでなく教育関係者にとっても、目の前にいる子どもたちを保護者がどのような想いで育ててきたかを教えてくれる本でもあります。

「もくじ」をご覧くださいと・・・「どうにかなります」「親の思い通りになんか、なりません」「うちの子、遅れてる？」「家は失敗の練習をするところ」「〇〇家のオキテ」・・・というように、著者の親としての経験がたくさんちりばめられています。使われている言葉も非常に平易で、語り口が柔らかいです。

一方、「教育は人を幸せにするため」「強い力と、弱さを思いやる力」「何が何でも『良い習慣』『集団』が持つ教育力」・・・という「もくじ」の言葉からは、公立中学校、教育委員会、文部科学省、大学などでのお仕事を通して得られた知見や、教育の本質を突く考えが書き表されていることも分かります。

ご存じの通り、浅田氏は香川県豊島のご出身。おだやかで、温かい文章に何かしら親しみをを感じるのはそのせいでしょうか。

②「子どもを伸ばす言葉 実は否定している言葉」

天野ひかり/著

（ディスカヴァー・トゥエンティワン 2023 年発行）

本書のテーマはずバリ「自己肯定感」です。自己肯定感とは「短所と思われる部分も含めて、ありのままの自分を認められる心の状態」です。著者によれば、自己肯定感を育てることは「器を大きくする」こと。知識や情報、社会のルールを子どもがしっかり身に付けられるのも、器が大きく丈夫でしなやかであればこそ。ではどうすれば子どもの自己肯定感を育てることができるのか。基本は子どもを「そのまま認めること」と「子どもの判断を認める」こと。でも、それではわがままな子どもになってしまうのではないかという不安がよぎります。そうした不安に、親子コミュニケーションアドバイザーとして5万人以上の親子の悩みを聞いてきた著者が、事例で答えてくれます。NGな対応とOKな対応が事例ごとに漫画で提示され詳しく解説してくれるので、両者の違いがよく分かります。読み進むうちに、子どもの意欲を育

て、自分で判断しようとする力を育てることがいかに大事であるか納得がいきます。子どもにどう接し言葉かけをしたらよいのか悩んでいる方はぜひ読んでみてください。

③「授業力&学級経営力 2025年 1月号」 (明治図書)

特集「話術を磨け『話が苦手な先生×話が上手い先生』の習慣」がおもしろいです。話が苦手な先生で話術を磨きたいが、いまさら人に聞けないし、どう改善したらいいのかわからない、という方におすすめなのがこの特集です。『説明』が苦手な先生は、大きな声で話し続け、上手い先生は、声の大きさを大小使い分ける」という基本から、『発問』が苦手な先生は、『納得』を引き出し、上手い先生は、『疑問』を引き出す」等の応用レベルまで、授業だけでなく学級活動、職員間や保護者とのやり取り、その他学校生活全般の実例が豊富なので、実践にすぐ生かれます。自信のある方もない方も自分の話の仕方を振り返ってみてはどうでしょう。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等 (抜粋)
国語教育 (明治図書)	1月号	【特集1】徹底研究「海の命」「少年の日の思い出」の授業 ◇「海の命」を読み深める 教材研究の目 ◇実践「海の命」のおすすめ単元計画と発問・交流プラン ◇実況解説！「海の命」の板書デザイン ◇「少年の日の思い出」の世界 ヘルマン・ヘッセと作品の見方 ◇「少年の日の思い出」を読み深める 教材研究の目 ◇実践「少年の日の思い出」のおすすめ単元計画と発問・交流プラン 【特集2】ラスト3か月の国語授業づくりチェックポイント 【連載】◇言語化する力を哲学する 「説明的な文章」アレルギーのなぞ ◇ほんとうは楽しい語彙学習 思考に関わる語彙を豊かにする
社会科教育 (明治図書)	1月号	【特集】対話的な学びを深める！「論争問題学習」成功の極意 ◇対話的な学びを深める！「論争問題学習」成功のポイント ◇[話し合い]と[対話]の境界線とは？「対話的な学び」成立のポイント ◇1人1台端末時代の「論争問題学習」 対話的な学び実現の手だて ◇社会科教育における「論争問題学習」 法理学アプローチのすすめ ◇[授業最前線]対話的な学びを深める！「論争問題」授業モデル 【連載】◇最新授業ネタ 逆境を克服し派生産業を発展させた十勝平野 ◇授業づくりの教科書 美しい景観を生かすまち 松島町に学ぶ
数学教育 (明治図書)	1月号	【特集】おもしろ過ぎて授業で話したくなる「数学雑学」2025 ◇数式の雑学 ・文明の進化＝数の進化 ・二次方程式から黄金比が生まれる？ ・素数は安全な暗号の基礎!? ・油分け算に必勝法がある!? ◇図形の雑学 ・イヤホンコードはなぜ絡む？ ・PointLine で三角形を探究できる!? ・動かない点が必ず存在する!? ・江戸では直径×直径×0.79が円の面積だった!? ・コッホ島の海岸線の長さは無限!? ◇関数の雑学 ・関数で暗号を解読する!? ・人間の感じ方も関数グラフで表せる!? ・パンケーキは必ず半分に切れる!? ◇確率・統計の雑学 ・統計グラフの見た目にだまされる!? ・ディフェンスが強い方が試合に勝てる!? ・データサイエンスが私たちの暮らしを支える!? ・統計教育が進んでいる国、統計教育を重視している国

		◇いろいろな雑学 ・生成 AI は学校教育にとって本当に悪？ ・博物館に眠る頭蓋骨は何を見てきた？ ・QR コードには秘密が潜んでいる!?
理科の教育 (東洋館出版社)	1 月号	【特集】理科における異校種間の連携 ◇小・中・高を見通した理科教育の在り方 ◇学校間の理科指導の連携を目指した人事交流や教員研修などの取組 ◇既習事項や発展内容を効果的に取り入れた授業実践 ◇小中及び中高の理科教員と理科教育の連携 【連載】◇教材研究一直線 日本で南十字星を撮影する ◇生徒をひきつける観察・実験 ラジオメーターが回る仕組みを考える ◇教材の隠し味 電圧センサを用いた電磁誘導 ◇見えない夜空を授業中にシミュレーションしよう！ ◇地球は大きな磁石だ！地磁気の逆転
英語教育 (大修館書店)	1 月号	【特集 1】次のカリキュラム（学習指導要領）に望むこと 先取りパブリック・コメント ◇次期学習指導要領での外国語教育に期待すること・望むこと ◇「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」に先取りパブリック・コメント ◇基礎力定着をめざす高校カリキュラム！ 未来のカリキュラム『ミラカリ』のススメ ◇英語教師の専門性に期待するからこそ 【特集 2】効果的なピア・フィードバックのコツ ◇生徒同士が高めあうピア・フィードバック ◇完璧主義からの解放 できることから始めるピア・フィードバック ◇L・O・V・E をこめてピア評価を 小学 6 年・MY Best Memory プレゼンテーション 【特別記事】中学校教科書出版社による「改訂教科書ポイント紹介」
道徳教育 (明治図書)	1 月号	【特集 1】道徳教育×ウェルビーイングが熱い！ ◇すっきりわかるウェルビーイング ◇学校教育とウェルビーイング ◇Q&A で読み解く ウェルビーイングを目指すこれからの道徳教育 ◇ウェルビーイングを高める道徳授業 ◇押さえておきたいキーワード ◇ウェルビーイングを学びたい先生のためのブックガイド 【特集 2】保存版 心に響く説話コレクション
授業力 & 学級経営力 (明治図書)	1 月号	【特集】話術を磨け！「話が苦手な先生×話が上手い先生」の習慣 ◇〔授業〕説明 指示 発問 つかみ 対話 ヒント 「説明」が苦手な先生は……、上手い先生は…… 等 ◇〔学級生活〕動機づけ 雑談・会話 ほめる 叱る トラブル対応 ◇〔職員室〕クレーム電話対応 相談 提案・発表 ◇〔全般〕挨拶・スピーチ 話の組み立て 発声 タイミング・間
生徒指導 (学事出版)	1 月号	【特集】実効的な「生徒指導方針」を作成する ◇生徒指導方針を作成する意義 ◇生徒指導方針を「計画」化して実践に生かす ◇生徒指導方針を上手に運用するための周知 【巻頭インタビュー】児童養護施設での生活と学校、先生とのかかわり

		【連載】◇これからの時代の学校図書館と「読書バリアフリー」 ◇学校教育のデジタル化 フィンランドの学校における「脱デジタル化」 ◇学びのための校則改正 多様な児童生徒と校則のあり方 ◇高等学校における生徒指導対応回想録
教職研修 (教育開発研究所)	1月号	【巻頭論文】学校教育法の「当たり前」再考/合田哲雄 【特集1】行政施策でみる2025年教育課題への一手 ◇図解2024～25年の教育界ニュース ◇求められる多様な「学び」に学校教育はどう向き合えばよいのか ◇NEXT GIGA、デジタル教科書、生成AIで学校・授業はどう変わるのか ◇【座談会】働き方改革のリアル ◇相次ぐ災害に備える ◇いじめの「重大事態」に備え、トラブルの「重大事態扱い」にも備える ◇不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援のあり方 【特集2】校長のやりがい ◇【アンケート】校長としての「やりがい」は何ですか？ ◇教員が校長を目指さない意外な理由 ◇次世代管理職へのバトン
初等教育資料 (東洋館出版社)	12月号 臨時増刊	【特集】令和6年度版幼児教育年鑑〔令和6年度幼児教育の動向〕 第1部 幼児教育・保育関係資料とその解説 ◇幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所の現状 ◇幼児教育・保育をめぐる最新の動向について ◇幼稚園教育要領等について ◇幼児教育関連ホームページについて ◇幼児教育関係教材映画・ビデオ一覧及び解説について 第2部 幼児教育関係事業について ◇幼保小の架け橋プログラム事業 ◇幼児教育の理解・発展推進事業 ◇幼児教育に関する大規模横断調査事業 ◇幼児教育の学び強化事業
	1月号	【特集1】個に応じた指導の充実② 【特集2】(音楽) 音楽科における多様なニーズに応じた指導の工夫 【連載】◇小中一貫で進める道徳教育 考え、議論する「シン・ドウトク」 ◇StuDX Style 校務DXと学びのDXがもたらす学校改革の推進 ◇幼保小の架け橋プログラムの推進 気軽に対話し、地域の子供を共に育てる架け橋の輪 「子どもの学び✳️ トークシート」等の活用や体制づくり 香川県高松市教育委員会
中等教育資料 (学事出版)	1月号	【特集】(中学校) 各教科等を交えて語り合う④学習評価の充実 ◇座談会 藤枝秀樹 視学官他 ◇論説 学習評価のどこが伝わりにくいのか 自己評価力を育てる評価を目指して 【連載】◇各教科等の改善／充実の視点 ◇20周年を迎える津南中等教育学校 探究学習「津南妻有学」と地域連携による魅力向上 ◇高等学校における[福祉教育] 福祉系高等学校をはじめとする教育実践
学習情報研究 (学習情報研究センター)	1月号	【特集1】児童生徒1人1台端末(活用) ◇1人1台端末活用時に生成AI依存について考える教育の提案 ◇学習者によるNHK for Schoolの活用方法と教師の支援との関連 ◇1人1台端末が「文房具」から「空気のような存在」へ ◇一斉授業における学習者の思考特性を生かした個別最適化学習

		◇卒業生への調査から考える 1 人 1 台端末環境の意義と可能性 ◇デジタル時代の学習環境 BYOD 導入による学習環境の変化と可能性 【特集 2】学習評価と CBT ◇CBT による評価の期待と課題 ◇学習評価における CBT の現状と課題 ◇CBT を活用し深い学びを見取る学習評価へ 【特別企画対談】GIGA スクール構想第 2 期：課題と展望 【その他】◇子ども向け教材（教材開発・普及活動・体験活動）自作ソフトウェアの検索 ◇未来の学習コンテンツ 異学年グループ「探究」活動での縦の学びと学校文化を創る
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	1 月号	【特集・スペシャル座談会】どう進める？スクールワイド PBS（後編） ～学校全体で取り組むためのヒント～ 【連載】◇ココロとカラダの緊張をゆるめてラクに！雨の日の体育でできる「ぐるーみん」 ◇政治にチャレンジした理由～すべての人が自分で人生を決められる社会へ／乙武洋匡・雨野千春 ◇私の指導あり？なし？「納得がいかないとキレて暴れる子、どうすればいい？」 ◇就労に困難を示す境界知能の人たち 境界知能と、発達障害・知的障害との相違 ◇特別支援教育コーディネーターのオシゴトの悩みを解決します！ ケース会議の開催、進行のコツ②
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	1 月号	【特集】子供の学びの質が高まる「できる状況づくり」のすゝめ ◇「省察」を取り入れた授業の工夫 ◇高校通級における自立活動を中心とした「できる状況づくり」 ◇作業学習における「できる状況づくり」と新たなチャレンジ ◇児童生徒の主体的な学びと「できる状況づくり」 ◇通常の学級における「できる状況づくり」 ◇「できる状況づくり」が整えば、子供の障害は軽く見える？ 【連載】◇実践レポート 普段の生活に生きる国語科 ◇特別支援教育の基礎知識 なるほど！ キャリア・パスポートの活用 目標設定と振り返りを効果的に行うための方策例 ◇特別支援学級における ICT を活用した授業づくり
特別支援教育 (東洋館出版社)	冬号	【特集】学校教育目標の実現に向けた地域と連携した教育活動 ◇学校教育目標の実現に向けた特色ある教育活動について ◇特別支援学校におけるコミュニティ・スクール ◇全方位アウトドア！ 地域の自然財を生かし切る！ 「もりのこプロジェクト」の推進 ◇肢体不自由特別支援学校と地域や保護者をつなぎ、備える安全教育 ◇地域の方と心を通わせながら行う、「GO▶GOTSU コンソーシアム」 ◇地域の参画による特別支援学級の教育活動の充実 【連載】◇飛騨市の小・中学校に「学校作業療法室」ができた ◇「知りたい」「伝えたい」「やってみたい」を支える校内の ICT 活用 ◇三重県の地域における特別支援教育のセンター的機能の更なる活用のための取組

		◇就学前から卒業後までの一貫した支援の充実 就学支援ファイルの活用と架け橋プログラムの取組を通じて
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	12月号	【特集】2024 学校図書館調査報告 ◇探究学習には十分な図書資料が必要 ◇学校図書館経費の停滞 ◇全教職員との連携協働 ◇学習活動充実の実績を示して研修の機会を ◇授業を充実させるためのサービスが必要 ◇「図書館にある新聞を活用する」を当たり前の活動に 【連載】◇学習センター・情報センターを担う学校司書の役割 ◇「りんごの棚」で、バリアフリーにつなげる ◇絵本のそばで 『100万回生きたねこ』も『ぺこぺこ』も bitter
高校教育 (学事出版)	1月号	【特集】2025年、高校教育の展望 ◇「主体的・対話的で深い学び」を徹底的に基礎にして改訂審議を ◇高校教育にも巻き起こるか、教育DX旋風 ◇探究は「小さな問い」に始まり「問い」で終わる ◇これからの社会に必要な「交渉学」(下) ◇これからの高校教育に求められる人材像とその採用・育成方法を考える 【連載】 ◇ちょっと拝見 学校訪問 兵庫県立阪神昆陽高等学校・阪神昆陽特別支援学校 高校と特支が「同居」する学校 「ノーマライゼーションの理念を進展するための礎」を目指す ◇2040年、教育の旅 町立移管で挑む離島の高校存続 奥尻高校の挑戦 ◇学習アプリを活用して商業高の[学力]を支える 岡山県立津山商業高校 ◇高校生も「情報生産者」になってみたい 上野千鶴子さんとの探究活動 兵庫県立姫路東高等学校
学校事務 (学事出版)	1月号	【特集】2025年の学校事務を展望する ◇2017年の学校教育法改正による一つの時代の終焉と学校事務センター再編 「研究性」と「国際性」を生かす日本教育事務学会 ◇2025年の学校財務を展望する ◇精神疾患休職率から学校事務職員のメンタルヘルス対策を考える 【巻頭インタビュー】これからの学校図書館と読書バリアフリー 【連載】◇「行政からの多様な期待」をめぐる悩み ◇事務職員は片づけの発信者 収納は7～8割が使いやすさの目安 ◇子どもの権利が満たされる学校へ 読書離れって、ホント？ ◇語ろう！学校財務 職務がより深く、面白くなる！ ◇特別支援学校特有の事務における知識形成とその共有 ◇教員の負担軽減・会計の適正化にむけた運営方法の再構築 学年会計 ◇令和の学校マネジメント 事務職員が語る「企画」「実行」「判断」 ◇どうなっている？気になる教育トピック 給特法の動向 ◇今月の書評 『がっこうはじごく』『教育投資の経済学』
指導と評価 (日本教育評価研 究会)	1月号	【巻頭言】不登校34万6482人から考える 【特集1】令和6年度全国学力調査の分析 【特集2】教育虐待 ◇教育虐待・ネグレクトとは

		◇「いい子」であることを強いられる子どもたち ◇子どもをコントロールするかかわりからの脱出 アドラーの「勇気づけ」のもとに ◇家庭を孤立させない保護者支援・子育て支援 ◇学校は何ができるのか 学校を保護者が立ち止まることのできる場に 【連載】◇熟練教師の「学びへの眼差し」5つの特質 ◇発見型の授業を支える宿題 物理ぎらいを解消するための工夫 ◇「手で書くこと」と「GIGA 端末」 使い分ける人間の能力を錬磨する
教育ジャーナル (Gakken)	27号	【特集1】2024年度の授業参観 教えるのではなく、授業を通して子どもたちが自律した学習者として育つことを手助けする 教師の意識は変わり、授業改善は進んできた 【特集2】声を聞こう／子どもの声・教師の声 教師の「学びの専門職としての『働きやすさ』と『働きがい』が本当に可能になるのか 答申『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」より 【速報】学研『自宅学習の実態と保護者の教育観』調査2024 報告 保護者の視点からみる学校教育と自宅学習の現状と期待 【連載】◇ZOOM UP! 霞が関 不登校児童・生徒34万人超 ◇リアルな体験がAIリテラシーの基盤になる